



日 時	平成22年10月16日(土) 9時30分~12時
場 所	新赤坂事務所：港区赤坂2-10-17 石原ビル2F
出席者	出席：(理事) 土屋、阪井、泉澤、金城、坂井、木村、青木、西川(記) (幹事) 日野 Skype参加:なし
欠席者	理事(委任状有)：川村(土屋)、岩下(土屋)、内田(土屋)、植村(土屋)、柏井(西川)、小林(土屋)、神野、富田 監事：竹政
議 題	<b>特別事項</b>  <b>審議事項</b> 1 書記・承認者指名 (会長) 2 第5回9月度議事録確認 (総務部会) 3 会員入会承認・退会確認 (会員部会) 4 ホームページ改定作業確認 (広報部会) 5 10周年史完成に向けて (会長) 6 日本環境倶楽部との連携について? (教育部会) 7 年間予定表確認 (総務部会) 8 その他宿題事項など (担当部会) 9 10 11 <b>報告事項</b> 1 JPEC9月理事会報告 (会長) 2 10月31日PE/FE試験プロクタ募集の件 (会員部会) 3 4 5 6
添付資料	添付1. 添付2. 添付3. 添付4. 添付5. 添付6. 添付7. 添付8. 添付X.



議事内容	アクション
<p>● <b>審議事項</b></p> <p>1. 書記・承認者指名 書記：西川理事、議事録承認者：泉澤理事、木村理事、青木理事</p> <p>2. 第5回9月度議事録確認 9月度議事録に抜けていた以下の事項を確認した。 ・NSPE入会促進について：会員名簿の中にNSPE会員ステータスを記入する欄を設ける。 ・技術倫理活動活性化について：成果物は法律に詳しい人にチェックしてもらうようなことを考えたい。 ・米国AEE次回イベント企画について：担当を金城理事、神野理事とする。尚、大阪の候補企業は難しいことが判明した。</p> <p>3. 会員入会承認・退会確認 新入会員 AF 中村 重徳 様 (入金待ち、会員数にカウントせず) AF 齋藤 方子 様 (入金済み) FE 三野 史朗 様 (入金待ち、会員数にカウントせず) 資格変更 無し 退会者 FE0096 宮嶋 健太郎 様 (満期退会) 資格喪失 PE0036 大久保 和彦 様 (定款第9条(2) 本人の死亡による資格喪失) 会員数 9月度理事会後 PE 152名 準PE 32名 FE 140名 AF 30名 ST 2名 合計356名 (9月度名簿 PE 151名 準PE 32名 FE 139名 AF 30名 ST 2名 合計354名) 10月度理事会後 PE 151名 準PE 32名 FE 139名 AF 31名 ST 2名 合計355名</p> <p>4. ホームページ改定作業確認 項目削除や名称変更等簡単な修正項目は既にホームページ変更済みである。 組織表：新理事を加えた現時点の組織表は土屋会長が作成する。 JSPE と JPEC との関係：NSPE、NCEES も含めた関係として説明する案を議論し、一般向けなのでなるべく平易な内容に留めることにした。また許可のないロゴの使用は控える。文面については土屋会長が JPEC の了解をとる。 資格取得へのステップ及び試験情報：本来 JPEC のホームページを参照すれば済む内容のはずだが、JPE の HP では通り一遍の内容しか記載されていない。受験者の立場にたったきめ細かい情報は JSPE から発信すべきであり、JPEC と JSPE による記載内容の分担が課題である。また試験規則が変更されたときは速やかに HP の内容を修正すべきであり、JPEC から JSPE 広報への情報プラインが必要である。現在のコンテンツは土屋会長が JPEC に見てもらい、現在と違う記載事項については修正する。本項目の全面見直しは時間がかかるので、当面は現在のコンテンツの部分修正版をホームページに掲載する。 規定：一般公開は定款のみとし、細則は会員専用ページに掲載する。掲載方法は規則の見直しの中で決めていく。 PDH について：教育部会の修正案について議論。カリフォルニア州のルールではなく NCEES のルールを紹介すべき、今後はどの州でも CPD が求められる方向であるというトーンで記載すべき、という意見を参考に教育部会にて修正版を作成する。 年間予定表：担当者を消した表をホームページに一般公開する。(広報担当) その他の修正予定の項目についても内容を確認した。(詳細は添付資料参照)</p>	<p>(会長)</p> <p>(総務部会)</p> <p>(会員部会)</p> <p>(広報部会)</p>



議事内容	アクション
<p>本日確認した事項については2週間程度でホームページ修正に反映する。</p>	
<p>5. 10周年史完成に向けて 土屋会長より、現在のコンテンツのエリアと、編集のエリアの紹介があった。 各部長は過去10年間の事業報告書の該当部会の記録を分析し、そこから何らかのファクトを抽出してみる(11月末まで)。金城理事は過去の報告書の電子版をFFFTPにアップする。全体スケジュールとしては12月中旬にコンテンツを集め、1月に発行としたい。 編集は故大久保氏のご子息に頼むことを検討。</p>	(会長)
<p>6. 日本環境倶楽部との連携について？ 青木理事による日本環境倶楽部とのコラボレーションのたたき台にもとづき議論した。 相手は法人会員による団体で、JSPEは個人会員による団体であり、体質の違いから種々の課題が出てくる可能性があるため、少し慎重に進めたほうがいい。企画部会(金城理事)を担当とし、相手の会合に参加しながら様子を見ていく。</p>	(教育部会)
<p>7. 年間予定表確認</p>	(総務部会)
<p>● <b>報告事項</b></p>	
<p>1. JPEC9月理事会報告 プロクターボランティアに対するCPDセミナークーポンの発行提案は賛否両論の議論があったが、詳細について別途検討を要するので今回は見送りとなった。</p>	(会長)
<p>3. 10月31日PE/FE試験プロクタ募集の件 JPEC平城氏によるプロクタ経験者への個別メールも奏功し、10月11日(募集×切)までにアルバイト7名を含む43名が集まったため、追加募集は行わないこととなった。従って今回JSPE会員部会としてのアクション(貢献)は特に無し。ちなみに平城氏からメールが転送されたJSPE会員による応募(JSPE広報からの一斉メールでの募集に応じた人数と思われる)は14名。そのうち個別メール送付前に集まったのは7名。</p>	(会員部会)

承認	泉澤 聖一	
承認	木村 一夫	
承認	青木 豊加	
書記	西川 理	